

## 平成30年度計画護衛艦1番艦「もがみ」 引渡式・自衛艦旗授与式

令和4年4月28日（木）、長崎県長崎市に所在する三菱重工株式会社長崎造船所にて、護衛艦「もがみ」が海上自衛隊に引き渡され、これに続き自衛艦旗を授与された同艦は、初代艦長関健太郎2等海佐の指揮の下、配備先である横須賀に向け出港しました。

同艦は、海上自衛隊護衛艦として初めてガスタービン主機とディーゼル主機を組み合わせた推進方式であるCODAGを採用した平成30年度に計画された「もがみ」型護衛艦の1番艦であり、基準排水量3,900トン、全長132.5メートル、最大幅16メートル、深さ9メートル、速力30ノット以上の最新鋭の護衛艦です。

なお、同艦は「もがみ」型護衛艦の1番艦ですが、工期が計画より遅れ、2番艦「くまの」が先行して就役しています。

同艦は、令和元年10月起工、令和3年3月進水、その後ぎ装工事（各種機器等の搭載）、海上公試を経て、今般就役しましたが、この間、九州防衛局長崎防衛支局は、建造工事の監督及び検査を担当し、同艦の完成に深く関わりました。



▲自衛艦旗授与式



▲護衛艦「もがみ」に乗艦する隊員



▲自衛艦旗掲揚



▲出港する護衛艦「もがみ」